

『紡ぐ』

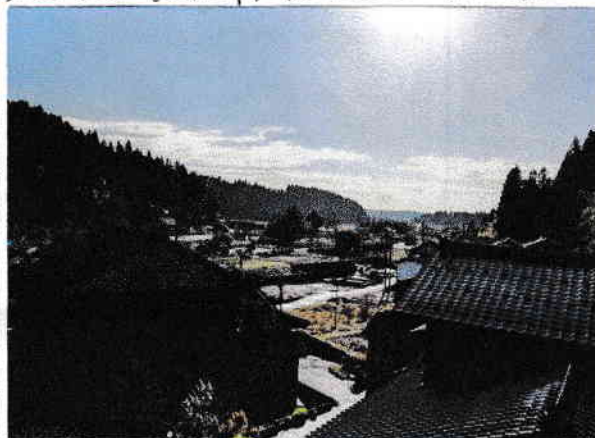
発行 教育相談室「あした塾」 発行責任者 滝井元之
 連絡先 927-0014 石川県鳳珠郡穴水町梶りの197
 ☎・FAX 0768-56-1152 (自宅☎ 0768-56-1151)

令和7年が 穏やかで みんな笑顔 になれる年 になりますように...



令和7年/月/日の朝は晴れぬたり。と
も穏やかで。何処に行っても。ゆつくりした気
持ちに包まれました。一年前。あの大地震は
能登に住む人々を恐怖と悲しみの底に
それらを忘れさせる一瞬を与えてくれました。
気が湧いてくる。そして。みんな笑顔で
過ごせるそんな年になってほしいものです。(T)

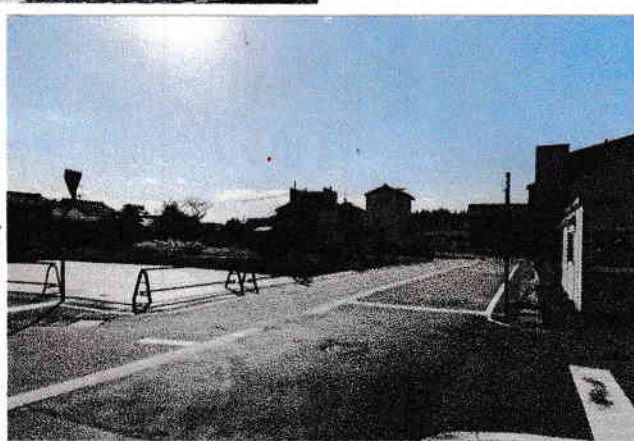
由比ヶ丘・キャスル真名井付近の穴水町の市街地
地を見ました。ブルーシートの屋根や仮設住
宅が見えます。令和7年/月/日の風景です。



(上) 兼光・梶・中居
集落の風景。遠くまで
見通せるようになってい
ます。(梶・白山神社から)

(右) 穴水町市街地。大島
町付近です。街中もあ
ちこちに空き地が広が
っています。

(いつの日か)



復興。そして自立するためには 現実を受けとめ

今。所は家
屋が解体さ
れ。あちこちに更地が出現し。風景は一変してい
ます。お。片づけられることもなく。震災時のままと
ころも多くあります。仮設住宅入居者にも。在宅被
災者にも。いつもの困難の問題があらわに見え
ていないという現実があります。世の中。きれいごと
ばかりということはありません。今のままではいられ

ません。厳しい現実やう
目を逸らさず。しっかり受
けとめ。いろいろな人々
の力を借りることをため
らねず。自立のための一歩を
踏み出しましょう。

遠いけど歩き始めないと
目的地に辿りつません。

「テレビや新聞などで知ることと実際の現地の様子はまるで違う。」来てお伺いしなさい。(養寛さん)

能登半島地震と 本論に 京都橋大学 養寛 翔文



(写真左は養寛 翔文。右は静岡の伊東歯科医師です。)

昨年11月中旬、京都橋大学の学生 養寛 翔(よしかん しょう)さん(21歳)が、穴水町を訪れました。養寛さんの祖父が、穴水町に在住していることもあり、地震以降、何度も穴水町に来たということで、卒業論文にこの能登半島地震を取り上げることに決め、3日間にかたり、調査・聴き取り、そして、ボランティア活動にもやりわり、12月に、それまでにまとめていたものと合

わせた、大作に仕上げたという事です。この1月3日に「あした塾」を訪れ、本誌の発表の様子などを話してくれました。主に穴水町のことを取り上げていたようですが、学生たちの反響が、特に指導教授は前のめりになく、食いついてくれたとのことでした。3日に来たときは、双子の弟 潤(じゅん)さんと一緒に、2人とも口をそろえて、穴水町の良さを話していました。「能登に来ると空気がおいしく、ホッとする。」「時間やゆくり進めよう。よく眠れる。」「とにかく魚がうまい。新鮮さは別格。」などと。

穴水町 とちき大会



昨年12月20日、穴水町大町のふあり商店前で、穴水町もちつき大会が行われました。いろいろ取り組みの中で「元気を」をもらって、なんとか前に進めるように…。このもちつき大会には、神戸の職人さんたちも協力してくれました。



忘れさら
ないよう
発信し続け
ましょう。

(中尾地味か)

穴水町から 3人目のプロ野球 選手が誕生!



(左から2人目、東野魁仁君 地味新聞) 穴水高校の東野魁仁(ひがの かい)君は、穴水高校2人目、穴水町出身では3人目のプロ野球選手になりました。独立リーグ・日本海リーグの三川シーオーズからドラフト指名を受けました。穴水町のみんなが元気にされるまで、西武ライオンズの牧野翔矢、楽天ゴールデンイーグルスの松井友豪の両選手はいます。